

ごぼうの販売額14億円達成

～高品質ごぼう生産と長期安定出荷による販売額の増大～

【概要】

低コスト・高品質で安全・安心な農産物の生産とごぼう専用冷蔵庫の導入による長期安定出荷を図り、販売額を増大させた。

【対象名】

おいらせ農業協同組合
やさい推進委員会
ごぼう部会（357名）

【背景・課題】

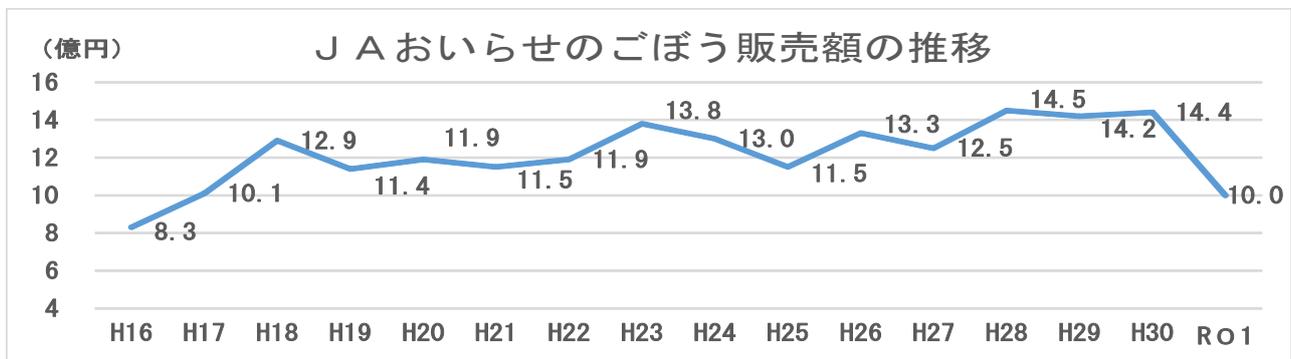
- ・出荷期間を、8月～翌年5月までの長期間とすることが市場から求められていた。
- ・栽培面積は増加している一方で、品質低下が見られていた。
- ・肥料などの農業資材が高騰してきていた。
- ・消費者の食の安全・安心に対する要望に応える必要があった。



ごぼう栽培現地検討会

【取組の内容】

- ・平成20年度、防衛施設庁関係の国庫事業を活用し、貯蔵能力700 tの専用冷蔵庫を導入した。さらに、平成20年度加工・業務用対応型園芸作物流通拡大事業を活用して、低コスト・省力化栽培や長期保存方法を確立した。
- ・同時期から、価格変動に対応し農家所得の安定化を図るため、契約栽培に取り組んだ。
- ・農家所得の向上を図るため、「みさわ味彩の会」と連携し、ノンフライ製法「ごぼうチップス」（焼き肉タレ味、カレー風味）を開発した。
- ・平成23年度から、安全・安心な農産物の生産を図るため、GAP手法に取り組んだ。



【成果（収益性アップ）】

- ・販売額は、平成16年の8億3千万円から平成28年には14億5千万円と約1.7倍に増加した。
- ・安全・安心な農産物の生産が市場評価の向上に結びつき、取扱いが増加した。